

2018年12月11日
多摩都市モノレール株式会社

立川南駅リニューアル工事が完成します。 ～駅舎改修を通じた地域に愛されるブランドづくり～

多摩都市モノレール株式会社（本社：東京都立川市、社長：醍醐 勇司）は、このたび開業20周年を迎えました。弊社はこれを契機とし、お客様サービスの更なる向上や地域との一層の連携に取り組んでいます。そのひとつとして、12月13日に立川南駅（所在地：東京都立川市柴崎町3丁目）のリニューアル工事が完成しますので、お知らせします。

弊社では、「沿線に住みたい」「モノレールを使いたい」と思っただけのようなモノレールブランドづくりを進めるとともに、沿線地域の更なる活性化に貢献してまいります。

□ 生まれ変わる立川南駅の特徴

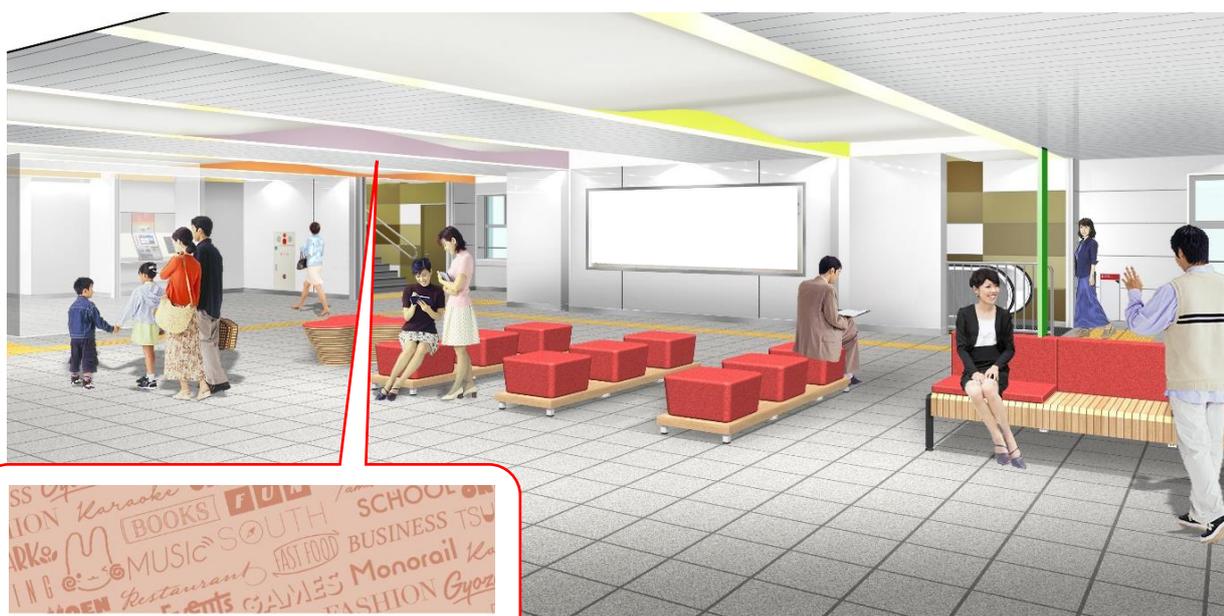
その1 立川南エリアの賑わいにマッチするコンコースデザイン ～「くるりん」デザイナーとのコラボレーション～

立川南エリアは、レストラン、カフェ、ショッピングなどの店舗のほか、オニ公園や立川まんがぱーくなど、多様な賑わい要素で構成されています。

コンコースは、天井や壁を明るい白色系で統一したほか、天井の一部に駅周辺の多様な要素をデザイン文字で表現することで、立川南エリアの街の賑わいにマッチしたデザインとしています。なお、デザイン文字は立川市キャラクター「くるりん」の作者である鳥澤安寿氏とコラボレーションして作成しました。



くるりん ©立川市



デザイン文字 ©立川市

コンコースイメージ

その2 快適性を感じる空間の創出

～地元建築材料を積極的に活用したベンチ、充電スポットの設置～

ベンチは奥多摩で採れる高品質な木材である「多摩産材」を活用し、明るいコンコースにマッチする印象的なデザインとしました。また、一部のベンチには、コンセントとUSBポートを備えました。

(充電機能を備えた駅舎内ベンチは、多摩エリア鉄道会社初です。)※2018年8月調査時点



ベンチイメージ

～時間帯で色が変化する天井照明～

コンコース照明を時間帯によって変化させます。朝は明るい昼白色の光でお客様を気持ちよく街へお送りし、昼は穏やかな白色、夕方は暖色の光でお客様を暖かくお迎えます。



朝



昼



夕

照明の色変化イメージ

大阪高速鉄道株式会社
万博記念公園駅

(画像提供 パナソニック株式会社)

～多様な機能を備えたトイレ～

ベビーカーなども入れる広めのブースを設置したほか、すべての便器を温水洗浄機付きの洋式としました。また、ベビーチェア、ベビーシート、パウダーコーナーなども配置しています。



女子トイレ

その3 その他

～バリアフリー整備ガイドラインにいち早く対応～

2018年7月に改訂された最新のバリアフリー整備ガイドライン(国土交通省)に対応し、ホーム誘導ブロックの配列変更や音声案内装置の増設を行いました。

～臨時売店スペースの新設～

地域の特産品販売やPR等にも活用できる臨時売店スペースを新たに設置しました。

□ リニューアル記念イベント「たまモノ FUN」の開催について

立川南駅のリニューアルを記念し、以下のとおりイベントを開催します。イベントには立川市キャラクター「くるりん」とJA東京みどりキャラクター「みーどりん」が登場します。

日時 2018年12月23日(日・祝) 10～15時

- ・リニューアル完成記念ノベルティ(多摩産材コースター)の無料配布
- ・JA東京みどり立川による地元産の野菜の直売
- ・公益財団法人東京都農林水産振興財団による事業PRブース



ノベルティコースター
(時間毎に100個配布)



くるりん



みーどりん



地元産野菜(イメージ)

お問合せ先：多摩都市モノレール株式会社 工務課施設係
TEL：042-526-7800(代表)(受付時間 平日 9:00～17:45)